



NPO法人ふくてっく 第23回総会議事録

定款第三条（目的）

この法人は、高齢者・障がい者等、支援を必要とするあらゆる市民の自立又はその介助を支援するため、福祉・医療サービス及び住環境整備に関わる直接的・間接的事業の遂行を通じて、専門職を含む市民による自発的な社会参加を促進し、心身のバリアフリーを実現して、社会の利益の増進に寄与する事を目的とする。

出席報告 中北事務局長は、現在正会員数 32名 出席 31名（委任状出席18名含む）であるので総会が成立していることを報告した。

総会議長に、小川会員を推挙したいが、と諮ったところ、出席会員の全員が賛同した。

小川会員は議長席につき、13時 40分に総会の開会を宣言した。

議長は続けて、議事の書記を中北事務局長に命じるとともに

議事録署名人として、藤本和恵会員と 寺岡春恵会員を示したうえで審議に入った。

1号議案 令和5年度活動報告

理事長総括

（小川理事長）

今年オリンピック開催年です。これまでは到底メダル獲得は期待できないであろう競技に対しても、ひょっとすると！と期待を抱かせる競技も多く、参加する選手たちの日々のたゆまぬ**努力***と継続する**練習***の成果、そして海外での**競技経験***が大きいようで、選手たち個々のパフォーマンスにワクワク、ドキドキしながら、がんばれニッポン！みんなで応援しましょう。

さて、ふくてっくの令和五年度の活動はと言えば、活動枠を超える勢いで受注している「こむねっと」の福祉サービス第三者評価をはじめ、対象を追加して障がい者の要望に応えたいと願う「りのべる」の住宅改造費助成制度適正検証、ふれあいを大切に思う「つどい」は園児や市民と戯れる木工体験など、近年継続している活動を引続き遂行する一年となりました。

月1開催の部会では、会員の**たゆまぬ研鑽【努力】**に時間を割き、**実践活動【練習】**を重ねることで活動成果として表れています。あと、あえて今後のふくてっくに加えるとすれば、新たな試みを含め**他団体との関わり【海外経験】**が必要であり、その貴重な機会がさらに成長させてくれると考えています。現状の活動をとれば余力のない状況にも見えますが、ふくてっくとしてやりたいこと、成し遂げたいことを頭に思い描くことは出来ます。その為に必要な団体交流や人脈作りに少し積極的に取り組みましょう。

成長の過程をスポーツ競技と一緒に出来ませんが、まだまだこの現状に甘んじることなく成長しなければならない法人として、しっかり歩いていきたいと思えます。

◆定例会その他記録

開催日	学習会テーマ	学習会講師	その他
R5.7.1	身近にある仏の智慧とは？ ～ちょっと意識すれば人生が変わる～	竹内美季氏 (株)ITマネジメントパートナーズ	
R5.8.5	第22回定期総会開催		・8/5午前中にR4年度第2回理事会を開催しました。
R5.9.2	おいしく！楽しく！美しく！ 「腸活」で健康に	山本なな氏 ナチュラル&ミネラル食品アドバイザー	・9/4寝屋川市介護保険住宅改修研修会（りのべる）
R5.10.7	「あなたならどうする？」 地域医療在宅支援室より	中村温子氏 神戸市立医療センター西市民病院勤務/看護師	
R5.11.4	フランス式アロマセラピーの可能性・ 認知症予防と睡眠の質の向上	真嶋 享氏 ティーコレクション取締役	・11/2羽曳野市立鷹鷲南幼稚園・11/8生駒市立桜ヶ丘幼稚園・11/17生駒市立竜分幼稚園、木工活動 ・11/23池島ふれあいまつり 木工体験（つどい） ・11/4有馬会員宅訪問12名
R5.12.2	「発毛・育毛のメカニズムを知る」 ～ツルツルかフサフサか？！いつまでも輝く人生を！～	中野伸彦氏 N・Plan代表	・12/16住まい情報センター「シニアライフ予備校 リフォーム編」（立溝、佐久川、小川）
R6.1.6	抱負を語る会（学習会なし）		
R6.2.3	インボイス制度について	秋岡 安会員 税理士	・2/3午前中にR5年度第1回理事会を開催しました。
R6.3.2	女性の視点からの防災 ～大阪北部地震の被災経験から～	多田明世氏 よんなな防災会女子部管理者・防災士	・3/31「カニご賞味会」岡会員宅にて
R6.4.6	「いくののまち」を盛り上げよう (地域活性とまちづくり)	木村和弘氏 (株)コリアジャパンセンター	
R6.5.11	大阪・関西万博ユニバーサルデザイン への当事者参画の取り組み ～私たちが望んだこと～	堀 篤子氏 NP0ちゅうぶスタッフ	・5/20能登地震寄付（ゆめ風基金） ・5/29有馬会員宅、作業場の片づけ打ち合わせ
R6.6.1	「マインドフルネスと人生の質の向上」	森 美智代氏 (株)Esprit代表取締役	・6/16岡会員別荘にて樹木剪定&BBQ

外部講師を招聘しての学習会の開催がコロナ禍以前の水準に戻ってきました。

◆総会記録

開催日時	場所	議事
第22回 定期総会 R5.8.5 13:25～15:12	大阪市立社会福祉センター 3階会議室 正会員総数31名 出席27名 (委任状出席含む)	・R4年度活動報告・同決算 承認 ・R5年度活動計画・同予算 承認 ・監査報告 ・役員任期満了に伴う改選について

◆理事会記録

開催内容・日時	場所	議事
理事会 R5.8.5 10:35～12:15	大阪市立社会福祉センター 3階会議室	・R4年度活動・同決算報告 ・R5年度活動・同予算計画 ・役員改選 全理事・監事の留任を総会に諮る
理事会 R6.2.3 11:00～12:00	大阪市立社会福祉センター 3階会議室	・R5年度上半期の活動報告、下半期の活動展望 ・その他

1. ふくてっくのつどい

(小川会員)

◆ 総括

「つどい」としての平常活動、①木工活動（工作、体験） ②会員交流（親睦、体験） ③会員学習（挑戦、体験）の遂行！！

ものづくり活動		令和5年度事業報告 (R5/7/1～R6/6/30)	
A：事業活動 (有償無償に関わらず、外部に対する事業活動)			
No.	事業名 相手先・依頼主 場所	日付 期間	事業目的・内容等 成果
1	園児 工具&木工体験 羽曳野市立高鷲南幼稚園 上記幼稚園	11/2	園児にもものづくりを通じて工具体験することが目的の活動（会員11名参加） 今年も幼稚園発案の「お絵描きボード」を共通作品として取り組み、その他、自由木工を実施。反省点は、3年代入れ替えの45分では、充実した自由木工は難しい。
2	園児 工具&木工体験 生駒市立桜ヶ丘幼稚園 上記幼稚園	11/8	園児にもものづくりを通じて工具体験することが目的の活動（会員8名参加） 14人という少人数（年長）での木工で「お絵描きボード」と自由木工で実施。ふくてっくの工作は初めてで、少人数という事もあり時間もゆっくり活動ができた。
3	園児 工具&木工体験 生駒市立壱分幼稚園 上記幼稚園	11/17	園児にもものづくりを通じて工具体験することが目的の活動（会員15名参加） 70人という大人数での木工で年少には「お絵描きボード」、年中、長は工具体験と自由木工を実施。ふくてっくの工作は初めてで、親御さんも参加のバタバタ自由木工となる。
4	池島ふれあいまつり 海の子学園 池島公園	11/23	地域住民のものづくりとのふれあい目的の活動（会員11名参加） 4年ぶりの復活で、開催を待ち望んだ声や、成長した懐かし人たちと再会する。時間があるので発想が豊かな作品が多く完成する。
5			

たいけん・ものしり活動		令和5年度事業報告 (R5/7/1～R6/6/30)	
B：部会活動 (会員の研修会や勉強会、他機関との会合等)			
No.	事業名 相手先・依頼主 場所	日付 期間	事業目的・内容等 成果
1	蟹ご賞味会（会員交流） ふくてっく 岡邸	3/31	会員交流を目的に開催（会員10名参加） 旬の蟹を調理し、飲み食いしながら会への要望や不満？プライベートな話まで会話を楽しむ。 交流の結果として学習会（秋岡さんへの相談会）を開催することになる
2	地域貢献（剪定&大掃除） 岡さん 能勢（岡さん別荘）	6/16	会員の相談ごと（困りごと）に取組む活動（会員11名、会員外5名参加） 自然の中に佇む別荘の手入れが大変なので、会員交流を兼ねてみんなで清掃に取り組む。 自然の恵み？庭の枝払いや雑草を火種にBBQ、交流の結果、新たな取組のきっかけが芽生える。
3	発表会BBQ（会員交流） ふくてっく いくのスカイパーク	6/23	みんなで盛り上がるだけを目的に開催 会員の特技？一芸？を発表する場を用意し、隠れた才能を鑑賞する。 当日、雨天のため延期

ふくてっくのつどい		令和5年度事業報告 (R5/7/1～R6/6/30)		
事業・部会No.	事業名	収益	費用	差益
A-1	園児 工具&木工体験	20,000	22,000	△ 2,000
A-2	園児 工具&木工体験	15,000	16,000	△ 1,000
A-3	園児 工具&木工体験	30,000	30,000	0
A-4	池島ふれあいまつり	25,000	22,000	3,000
A-5				
合計		90,000	90,000	0

2. りのべる部会報告

令和5年度 (R5/7/1～R6/6/30)

(清水会員)

- ・令和4年4月1日より部会名の名称を「りのべる」renovation + palに改めました。新部会名が意味するように、過去の活動に捉われず、蓄積したスキルを活用した新たな取組を進めていきます。当会のメンバーに関わらず、住環境を良くしたいと考える当事者や支援者と一緒に、支援する側、支援される側のスタンスではなく、お互い主体的に関わっていけるような活動を推進していきます。
- ・東大阪市重度身体障害者住宅改造費助成制度適正検証事業の委託事業は2006年からスタートしました。2017年には制度対象から高齢者が除かれましたが、当会としては、利用者ファーストの考えを基に改造助成の適正化検証に関わり今年度も継続して事業を展開していきますが、私たちのような第三者機関が検証する必要のない行政システムと地域福祉力が連携して支える社会を目指します。委託事業スタート時から当会が対象者を3障がい（身体・知的・精神）にとの訴えも、令和5年度療育手帳所持者を対象とする方針のもと、事前相談や認定審査も実施の運びとなりました。
- ・寝屋川市介護保険住宅改修研修会、研修日程：9/4（月）午前10:00～11:30 午後13:30～15:00 オンライン・ハイブリッド研修 ・対象者：寝屋川市介護住改施工事業者及介護支援専門員 ・講師：山本・清水
- ・大阪市立住まいの情報センターの出前講座は対面講座・オンラインでの講座も開催する事にしましたが実施にはいたりませんでした。
- ・令和4年4月より「住宅改善サポート」をスタートしました。暮らしているお住まいに不自由・不便が生じている高齢者や障がいのある方を対象に、住まいに関するアドバイス等の活動を実施していきます。
- ・だれにでも解る介護保険住宅改修の「ワンポイントアドバイス」を当会HPに掲載し順次更新していく予定です。
- ・活動を周知していくために、チラシ（つどいと合同）を作成し、各ボランティア市民活動センターや地域包括支援センターに配布は実施できておりません。
- ・活動メンバーは、本業及び他の部会活動兼任のため、新たに継続した活動を展開・拡大していくには時間的に難しく、本年度は従来の事業とワンポイントアドバイスの充実に取組むことになりました。

りのべる部会		令和5年度事業報告 (R5/7/1～R6/6/30)	
A：事業活動 (有償無償に関わらず、外部に対しての事業活動)			
No.	事業名	日付 期間	事業目的・内容等 期待する成果
	相手先・依頼主 場所		
1	東大阪市重度身体障害者住宅改造費助成制度適正検証事業	R5年 7/1～ R6年 6/30	目的：障がい者の住環境のバリアフリー化を促進する。 障がい者の住環境が改善され、継続して在宅生活を送る事ができる。 R5/4～R6/3 契約：検証6件、事前相談会1回（3件）、書類審査3件
	東大阪市 東大阪市内		
2	寝屋川市介護保険住宅改修支援事業	R5年 9/4	目的：健全な制度利用と、施工事業者・介護支援専門員の資質向上への支援。 施工事業者・介護支援専門員の資質の向上を図ることにより、質の良い住環境のバリアフリー化を促進する。 ■給付券方式施工登録事業所研修会及び介護支援専門員介護住改研修会 オンライン・ハイブリットにて開催 ①10:30～12:00 ②13:30～15:00 講師：山本・清水
	寝屋川市 寝屋川市立保健福祉センター 山本事務所・清水事務所		
3	大阪市立住まいの情報センター/出前講座	R5年7月 ～ R6年6月	目的：高齢者やその家族が自立した生活を継続するために必要な住環境改善について知識を有し、主体的に取り組む事を目指す テーマ：「たかが手すり・されど手すり」「介護保険の住宅改修」 高齢者の身近なテーマから、住環境改善の知識を有し主体的に住環境整備に関わり、安心・安全な暮らしを継続する。
	市民 大阪市内		
4	住宅改善サポート	R5年7月 ～ R6年6月	目的：高齢者や障がいのある人がその人らしく暮らせる住環境を整備する 内容：訪問相談、同行、アドバイス等 個別性に合わせた要望に対応し、その人らしく暮らせる住環境を提案する。
	高齢者・障がいのある人 大阪府下		
5	ワンポイントアドバイス	R5年7月 ～ R6年6月	目的：高齢者等が安心して安全に暮らせる住環境を整備する 内容：ホームページと通じて、介護保険住宅改修対象工事等について、アドバイスをおこなう。 介護支援専門員や住宅改修に関わる関係者・ご家族などに気づきを促し、住宅改修が適切に実施され、高齢者等が在宅で安心して暮らしを継続する。
	市民・介護関係者 大阪府下		

B：部会活動

(会員の研修会や勉強会、他機関との会合等)

No.	事業名	日付 期間	事業目的・内容等
	参加者・人数 場所		
1	定例部会(月1回開催)	R5年7月 ~ R6年6月	目的：東大阪部会活動における情報の共有と促進 内容：活動の報告・連絡・検討・ワンポイントアドバイス作成
	検証メンバー 大阪市立社会福祉センター・ リモート/ZOOM会議	第3土曜 12回	チームで取組、公正・適切、且つ、迅速な検証活動を行うことによって、高齢者や障がい者等の在宅生活の継続に寄与する

R5年度りのべる検証活動 作業担当報告

月	検証 活動日	検証 記録	改造助成 事前相談会		活動 予定	部会			ふくてっく 定例会	その他 活動予定 および備考
	*：活動無し	集積 送信	第3 木曜	担当	作成 連絡	第3 土曜	議事 進行	記録	発表担当	
7	6 27	寺岡 清水	*	*	山本	7/15	山本	清水	清水「大和言葉遊 び」	
8	10・17	小川	*	*	山本	8/19	山本	小川	なし	
9	14	小川	*	*	山本	9/16	山本	寺岡	寺岡「絵本の朗読/爆 弾になったひいじい ちゃん/のぶみ」	9/4寝屋川市介護保険住宅改修 研修会
10	*	*	*	*	*	10/21	山本	大塚	小川 「合理的配慮っ て？」	
11	16	鎌田	*	*	山本	11/18	山本	清水	曾我部「教訓・格言 シリーズ」	
12	7	後藤	21	春岡	山本	12/16	山本	後藤	鎌田「事例報告」	
1	18 25	後藤 春岡	*	*	山本	1/20	山本	春岡	なし	
2	29	清水	*	*	山本	2/17	山本	曾我部	春岡 「節分について」	
3	14	山本	*	*	山本	3/16	山本	山本	清水「ワンポイント アドバイス」	
4	*	*	*	*	*	4/20	山本	清水	鎌田「最新情報」	
5	30	春岡	16	春岡	山本	5/25	山本	大塚	寺岡「輪島の今」	
6	*	*	20	山本	*	6/15	山本	山本	山本「堀氏/万博のバ リアフリーについ て」	6/21出前講座：常徳寺「たかが 手すり、されど手すり」

りのべる部会

令和5年度収支報告 (R5/7/1~R6/6/30)

事業・部会 No.	事業名	収益	費用	差益	
A-1	東大阪市重度身体障害者住宅改造費助成制度適正検証事業	185,890	177,535	8,355	
			諸謝金		147,676
			旅費交通費		24,780
			通信運搬費		1,720
			租税公課		400
			支払手数料		2,959
A-2	寝屋川市介護保険住宅改修支援事業	110,000	75,424	34,576	
			諸謝金		75,424
A-3	大阪市立住まいの情報センター/出前講座	0	0	0	
A-4 A-5	住宅改善サポート ワンポイントアドバイス	0	0	0	
	雑収入・支出	0	0	0	
合 計		296,890	261,559	35,331	

◆総括

R5年度計画の概要	P	D	実績評価	C
<p>(以下、期首に立てた事業計画)</p> <p>福祉サービス第三者評価事業については、令和5年度の第三者評価事業規模を14件と想定する。 大阪市こども青少年局の施策により保育所の受審需要が急増することが見込まれ、(い)調査者、特に保育専門のメンバー増員を喫緊の計画課題とする。</p> <p>コロナ禍も峠を越し、評価機関連絡会や全国評価調査者連絡会での対面会議も再開される見込みであり、他団体との連携を深めるとともに当会からの情報発信に努める。 令和4年6月部会で提言した「空き家空きビルの福祉利活用PJ」を本格的にスタートする。</p> <p>外部連携については、活動範囲を精査して無理のないように進める。</p> <p>◆福祉サービス第三者評価事業については、年度当初に想定した評価件数(14件)を大幅に超過し20件の評価に取り組んだ。 内訳は、高齢0、障がい1、児童11、社会的養護7、その他1の合計20件である。そのほかに、アンケート調査のみの取組が1件、評価後のフォローアップ研修1件に取り組んでいる。 この間に、評価調査者は(い)調査者4名(うち2名は自身で評価機関立ちあげ予定)を増員することができた。 その後にも好調な受審依頼を受け、基本的に2週間に1件の訪問調査を汲むスケジュール計画として対応する中で令和7年度末まですでに予約が完全に埋まる状態となっている。 保育所受審ニーズの増加を受けて大阪府が認証する評価機関は今春6機関増えて23機関となった。大阪の第三者評価の質を向上していくために、評価機関連絡会の役割を見直す時期に差し掛かっており、その幹事機関としての当会にも期待が寄せられている。 ◆一方、令和6年度に本格的に取り組むとしていた「空家空きビルの福祉利活用プロジェクト」については、手を付けることはできていない。 部会マンパワーの総合的な活用の合理化を図る必要もあり、当面は凍結せざるを得ない状況である。 ◆外部連携についても、ボラ協その他の団体との連携を維持しているが、これといって評価に値する取組は行えていない。 過年度に退会した有ボ連(宅老所連絡協議会)が企画した行事に部会として参加した。</p>				

こむねっと部会

令和5年度事業報告 (R5/7/1~R6/6/30)

A：事業活動

(有償無償に関わらず、外部に対する事業活動)

No.	事業名	日付 期間	事業目的・内容等
	相手先・依頼主 場所		成果
1-1	福祉サービス第三者評価	通年	大阪府地域福祉推進審議会および評価機関連絡会
	大阪府・評価機関		令和5年度には、久しぶりに地域福祉審議会の開催があり、第5期大阪府地域福祉支援計画の中に第三者評価事業推進の必然性を主張した。 評価調査者養成研修、継続研修への協力は継続している。 評価機関連絡会は、リモートで予定通り年2回開催している。
	大阪府庁ほか		
1-2	福祉サービス第三者評価	通年	第三者評価活動
	福祉事業所		令和5年度は、障がい1件、児童(保育所)11件、社会的養護施設7件、一時保護1件の計20件を実施した。 R5年度は奈良県・兵庫県の評価実績はなく、兵庫県の評価機関認証更新を辞退した。
1-3	全国評価調査者連絡会	通年	第三者評価事業推進と評価者のスキル向上
	東京/マイアール1-事務所		中北が監事に就任
2	空家空きビル活用	通年	社会資源(空家・空きビル)活用による福祉事業所開設の支援
	大阪府下		部会としての実績はなし
3	外部連携	通年	直ちに具体的なプロジェクトを企図するものではないが、諸団体等との連携を深め、ネットワークを構築する。
	ボラ協 NPOゆめ風基金 NPOちゅうぶ NPOばあとなあ (一社)奈良市手をつなぐ親の会・奈良美鹿の会 大阪精神医療人権センター BCP研究会		一般的に、コロナ禍の影響が厳しく、外部連携の活動は低迷が続けたというほかありません。中北が個人的に、NPOちゅうぶ、(一社)奈良市手をつなぐ親の階・奈良美鹿の会、NPO第三連の監事を務めるほか、NPOばあとなあの運営委員として連携を保持しているが、そろそろ「床座施(しょうざせ)」すべき時期を迎えています。 コロナ禍も落ち着いて、連携の再開を模索する中で、外部連携担当の分散を図る課題を認識しています。

B：部会活動

(会員の研修会や勉強会、他機関との会合等)

No.	事業名	日付 期間	事業目的・内容等
	相手先・依頼主 場所		成果
1	7月部会	7/15 (土)	議題1) 2022-2023年度 第三者評価事業報告 議題2) 児童養護施設、母子生活支援施設の評価基準改訂内容の理解 議題3) 福祉施設としての保育所の特徴と、第三者評価に期待するもの 議題4) (社福) 成光苑保育所3園の評価について
	12名 大阪市立社会福祉センター		
2	8月部会	8/19 (土)	議題1) 第三者評価スケジュール 議題2) 評価進行中案件の比較検討 議題3) 令和5年度活動費配分計画 議題4) 母子生活支援施設、児童養護施設の評価留意点
	16名 大阪市立社会福祉センター		
3	9月部会	9/16 (土)	報告) 9-12月の評価予定確認 議題1) 保育所の評価基準について 議題2) 母子生活支援施設の評価について 議題3) 一時保護所の評価について
	9名 大阪市立社会福祉センター		
4	10月部会	10/21 (土)	報告) 受注状況。 議題1) 直近の保育所評価3園の比較 議題2) 全社協研修(保育所における第三者評価促進セミナー)の報告 議題3) 第三連研修報告(1.保育所における自己評価とは 2.保育の標準化とは)
	13名 大阪市立社会福祉センター		
5	11月部会	11/17 (土)	報告) 受注状況。 議題1) abc評価基準 議題2) 最近の保育所評価から(1.保育カリキュラム 2.保育所の働き方改革) 議題3) 最近の母子生活支援施設評価(南さくら園、リアン東さくら)
	9名 大阪市立社会福祉センター		
6	12月部会	休会	
7	1月部会	1/19 (土)	議題1) 1~5月の活動計画について 議題2) 上半期決算と今年度の収支見込み/令和6・7年度活動計画 議題3) ふくてっくの第三者評価実践マニュアルの見直し
	9名 大阪市立社会福祉センター		
8	2月部会	2/17 (土)	議題1) 評価機関連絡会議事内容について 議題2) (社福) みやびの保育所7園の評価について 議題3) 令和6年度以降の評価体制
	13名 大阪市立社会福祉センター		
9	3月部会	3/16 (土)	生野まち歩き コミュニティ再生
	6名 宅老連セミナーに合流		
10	4月部会	4/20 (土)	議題1) ソフィアシリーズとそれ以降の評価チームメンバー検討 議題2) 評価チームリーダーの配置 議題3) Googleスプレッドシートの活用について 議題4) 多数の保育所を運営する法人の評価における留意点
	9名 大阪市立社会福祉センター		
11	5月部会	5/25 (土)	議題1) 評価スケジュールとメンバー調整 議題2) (社福) みやびシリーズの総括 議題3) Googleスプレッドシートの活用開始
	12名 大阪市立社会福祉センター		
12	6月部会	6/15 (土)	議題1) 評価スケジュールとメンバー調整 議題2) 一時保護所および児童相談所の評価について 議題3) 第三連研修会報告(障害福祉の到達点と方向性) 議題4) 普及協議会の報告
	10名 大阪市立社会福祉センター		

こむねっと部会

令和5年度収益費用報告 (R5/7/1~R6/6/30)

事業・部会 No.	事業名	収益	費用	差益	
B 1~12	こむねっと部会 共通経費	①会議費		26,800	△ 64,950
		②諸会費		11,000	
		③支払い手数料		27,150	
A1	第三者評価事業	事業収入	7,772,600		962,189
		未収金	1,484,000		
		諸謝金		6,691,360	
		印刷製本費		734,000	
		旅費交通費		394,040	
		通信運搬費		7,530	
		消耗品費		141,136	
		租税公課			
		研修費		60,000	
		雑費		266,345	
		(小計)		9,256,600	
A2	地域資源の利活用による障がい者地域生活拠点構想	0	0	0	
A3	外部連携	0	0	0	
合計		9,256,600	8,359,370	897,230	

9.7%

こむねっと部会の期首収支計画では、第三者評価事業で約515万円の収益を見込んでいましたが、受注件数および1件当たりの契約額の上昇、さらに年度内に完了したものの未収の額を繰り入れた結果、約925万円の収益となりました。業務量の増加に伴い諸謝金も(365万円から670万円)増加しましたが、大幅な収支差額(14万円弱から90万円弱)の増となりました。

議長は、以上1号議案の諸説明を受けて、出席会員に賛否を問うたところ、一同異議なくこれを承認した。

令和5年7月1日から令和6年6月30日まで

活動計算書

(単位：円)

科目	決算金額		期首予算額	前年決算額
I 経常収益				
1. 受取会費				
正会員受取会費	150,000		170,000	155,000
通信会員受取会費	1,000		1,500	1,500
学生会員受取会費	0		0	1,000
例会参加受取会費	2,000		5,000	2,000
受取会費計		153,000	176,500	159,500
2. 受取寄附金				
受取寄附金	0		0	102,800
受取寄附金計		0	0	102,800
3. 受取助成金等				
事業復活支援金	0		0	0
受取寄附金計		0	0	0
4. 事業収益				
ふくてっくのつどい	90,000		105,000	40,000
りのべる部会	296,890		376,000	376,660
こむねっと部会	9,256,600		6,763,900	5,156,760
事業収益計		9,643,490	7,244,900	5,573,420
5. その他収益				
受取利息	71		65	69
雑収益	8		0	9
その他収益計		79	65	78
経常収益計		9,796,569	7,421,465	5,835,798
II 経常費用				
1. 事業費				
(人件費)				
給与手当	45,000		95,000	19,000
人件費計		45,000	95,000	19,000
(その他経費)				
材料費	0		13,820	10,574
業務委託費	0		0	0
諸謝金	6,914,460		5,388,000	3,937,308
印刷製本費(事業)	734,000		750,015	689,015
会議費(事業)	35,400		43,430	43,430
旅費交通費(事業)	463,820		350,717	374,352
車両費	0		0	0
通信運搬費(事業)	9,250		8,820	8,010
消耗品費(事業)	141,136		0	0
諸会費	11,000		10,200	10,200
租税公課(事業)	400		3,400	3,300
研修費	60,000		80,000	56,500
支払手数料(事業)	30,118		13,799	13,839
雑費	266,345		88,301	253,544
その他経費計		8,665,929	6,750,502	5,400,072
事業費計		8,710,929	6,845,502	5,419,072

科目	決算金額			期首予算額	前年決算額
2. 管理費					
(人件費)					
給与 手当	156,000			150,000	150,000
通勤費	35,360			33,260	33,260
人件費計		191,360		183,260	183,260
(その他経費)					
諸謝金	74,548			41,137	41,137
印刷製本費	200			200	250
会議費	68,000			72,400	72,400
旅費交通費	5,080			40,000	40,000
通信運搬費	51,705			59,986	59,986
消耗品費	141			330	330
地代家賃	419,892			419,892	419,892
諸会費	0			0	0
新聞図書費	0			0	0
保険料	36,000			62,160	62,160
租税公課	9			8	0
支払手数料	54,950			50,748	50,748
支払い寄付金	100,000				
雑費	8,492			217	217
その他経費計		819,017		747,078	747,120
管理費計			1,010,377	930,338	930,380
経常費用計			9,721,306	7,775,840	6,349,452
当期経常増減額			75,263	△ 354,375	△ 513,654
Ⅲ 経常外収益					
経常外収益計		0		0	0
Ⅳ 経常外費用					
経常外費用計		0		0	0
税引き前当期正味財産増減額			75,263	△ 354,375	△ 513,654
法人税、住民税及び事業税			70,000	70,000	70,000
当期正味財産増減額			5,263	△ 424,375	△ 583,612
前期繰越正味財産額			7,261,436	7,261,436	7,845,048
次期繰越正味財産額			7,266,699	6,837,061	7,261,436

令和4年度は60万円近い赤字決算となり、今期も赤字体質が継続するとの観測から、前期決算時には新たな事業展開に向けた体力の維持や次世代への継承を考えることが必要であるとした次第です。

しかしながら、令和5-6年度においては、大阪市こども青少年局の施策により福祉サービス第三者評価事業が想定外に拡大し、赤字を出すことなく終了することができました。

この傾向は、大阪市の施策が令和8年度までの時限ですので、当面は継続するものと思われませんが、その2年間に第三者評価事業を持続可能な体制とするとともに、ふくてっく全体の中・長期ビジョンを明確化することが求められます。

貸借対照表

令和6年6月30日現在

(単位：円)

I 資産の部			
1. 流動資産			
預金現金	6,533,785		
未収金	1,484,000		
流動資産合計		8,017,785	
2. 固定資産			
什器備品	2		
保証金	137,412		
固定資産合計		137,414	
資産の部合計			8,155,199
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払い金	882,000		
預り金	6,500		
流動負債合計		888,500	
負債の部合計			888,500
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		7,261,436	
当期正味財産増減額		5,263	
正味財産の部合計			7,266,699
負債・正味財産の部合計			8,155,199

財産目録

令和6年6月30日現在

(単位：円)

I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
手許現金	117,170		
普通預金			
三菱UFJ銀行梅田支店	5,429,500		
ゆうちょ銀行	834,834		
郵便振替口座	152,280		
未収金/こむねっと事業	1,484,000		
流動資産合計		8,017,785	
2. 固定資産			
什器備品	2		
保証金	137,412		
固定資産合計		137,414	
資産の部合計			8,155,199
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払い金 諸謝金	882,000		
預り金	6,500		
流動負債合計		888,500	
負債の部合計			888,500
正味財産			7,266,699

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正NPO法人会計基準協議会）によっています。

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定率法で償却をしています。

(2) 消費税の会計処理

消費税は税込経理により処理しています。

2. 事業別損益の状況

事業別損益の状況は以下のとおりです。

	ふくてっくの つどい	りのべる 部会	こむねっと 部会	事業費計	管理費	合計
I 経常収益						
1. 受取会費				0	153,000	153,000
2. 受取寄付金				0	0	0
3. 受取助成金等				0		0
4. 事業収益	90,000	296,890	9,256,600	9,643,490		9,643,490
5. その他収益				0	79	79
経常収益計	90,000	296,890	9,256,600	9,643,490	153,079	9,796,569
II 経常費用						
1. 人件費						
給与・手当	45,000			45,000	156,000	201,000
通勤費				0	35,360	35,360
（人件費計）	45,000	0	0	45,000	191,360	236,360
2. その他費用						
材料費				0		0
業務委託費				0		0
諸謝金		223,100	6,691,360	6,914,460	74,548	6,989,008
印刷製本費		0	734,000	734,000	200	734,200
会議費		8,600	26,800	35,400	68,000	103,400
旅費交通費	45,000	24,780	394,040	463,820	5,080	468,900
車両費				0	0	0
通信運搬費		1,720	7,530	9,250	51,705	60,955
消耗品費			141,136	141,136	141	141,277
諸会費			11,000	11,000	0	11,000
地代家賃				0	419,892	419,892
新聞図書費				0	0	0
保険料				0	36,000	36,000
租税公課		400		400	9	409
研修費			60,000	60,000	0	60,000
支払手数料		2,959	27,159	30,118	54,950	85,068
支払い寄付金					100,000	100,000
雑費			266,345	266,345	8,492	274,837
（その他経費計）	45,000	261,559	8,359,370	8,665,929	819,017	9,484,946
経常費用計	90,000	261,559	8,359,370	8,710,929	1,010,377	9,721,306
当期経常増減額	0	35,331	897,230	932,561	△ 857,298	75,263

3. 固定資産の増減内訳

科目	期首取得価額	取得	減少	減価償却累計額	期末帳簿価額
什器備品	427,590	0	0	427,588	2
合計	427,590	0	0	427,588	2

パソコン1台 プロジェクター1台

議長は、事務局長からの決算報告を受け、ふくてっくの事業運営について、全会員が課題を共有して将来を展望したいと述べたうえで、会員に意見を求めた。


会場からは特段の意見はなく、一同、報告を承認した。


監 査 報 告 書

令和6年8月3日

特定非営利活動法人 ふくてっく

理事長 小川 忠雄 様

監 事 秋岡 安 

監 事 稲住 泰広 

特定非営利活動法人ふくてっく 定款第34条に基づき、令和5年度における監事
監査を令和6年7月29日に実施したところ、次の通りであったので報告します。

- | | |
|------------|--------|
| ・法人の財産管理状況 | 特に問題なし |
| ・法人の会計状況 | 特に問題なし |
| ・その他の状況 | 特に問題なし |

4号議案 令和6年度活動計画

1. ふくてっくのつどい

(小川会員)

ものづくり活動		令和6年度事業計画 (R6/7/1~R7/6/30)	
A：事業活動 (有償無償に関わらず、外部に対する事業活動)			
No.	事業名	日付 期間	事業目的・内容等
	相手先・依頼主 場所		期待する成果
1	池島ふれあいまつり	11/23	地域住民のものづくりとのふれあい目的の活動
	海の子学園		これまで継続してきた活動で、地域の方々が待ち望む取組となっており、新たな取組にもチャレンジして参加してくれるみんなが楽しめるものとしたい。
	池島公園		
2	ものづくり体験	未定	あらゆる形で、モノづくりの楽しさを広める活動
	地域、団体		
3			
4			
5			

B：部会活動 (会員の研修会や勉強会、他機関との会合等)

たいけん・ものしり活動 令和6年度事業計画 (R6/7/1~R7/6/30)

No.	事業名	日付 期間	事業目的・内容等
	参加者・人数 場所		期待する成果
1	蟹かに&交流会	3月頃	会員の交流の場としての取組
	ふくてっく		季節のおいしいものを食べながら、交流の機会を提供
	岡邸		
2	屋外バーベキュー&交流会	4月頃	会員の交流の場としての取組
	ふくてっく		解放された屋外で、例会では見れない会員の素顔にふれる交流の機会を提供
	いくのスカイパーク??		
3	ふくフェス	未定	会員の交流の場としての取組 (一年間の成果!?)
	ふくてっく		ふくてっくに関わる人、関わった人が交流する場を提供。1年間かけて成長した各個人の発表の場(かくし芸?)とブツブツ交換ができるイベント。予算を付けて開催。
	レンタルハウス?		

ものづくり活動 令和6年度収益予算計画 (R6/7/1~R7/6/30)

事業・部会 No.	事業名	収益	費用	差益
A-1	池島ふれあいまつり	25,000	25,000	0
A-2				
A-3				
A-4				
A-5				
B-3	ふくてっくフェスティバル	0	50,000	△ 50,000
	合計	25,000	75,000	△ 50,000

東大阪市の重度身体障害者住宅改造費助成制度適正検証事業は、2006年から開始されました。2017年には制度対象から高齢者が除外されましたが、当会は利用者ファーストの考えを基に、改造助成の適正化検証に取り組み、今年度も事業を継続しています。

申請数は一桁台と低調ですが、事業開始時から当会は対象者を身体障がい、知的障がい、精神障がいの3障がいに広げるよう訴えてきました。その結果、令和5年度からは療育手帳所持者（知的障がい）も対象となり、知的障がいのある人の事前相談や認定審査の申請が増加しています。知的障がいのある人の住環境改善に関する要望には、市と相談しながら対応しています。

また、寝屋川市では今年度も介護保険住宅改修研修会を実施します。大阪市立住まいの情報センターの出前講座は、対面講座とオンライン講座の両方で開催することにしました。令和4年4月からは「住宅改善サポート」を開始し、住まいに不自由や不便を感じている高齢者や障がいのある方を対象に、住まいに関するアドバイスなどの活動を行っています。

さらに、介護保険住宅改修の「ワンポイントアドバイス」を当会のHPに掲載し、順次更新していく予定です。活動を広く知ってもらうため、チラシ（つどいと合同）を作成し、各ボランティア市民活動センターや地域包括支援センターに配布する予定です。

活動メンバーは本業や他の部会活動を兼任しているため、新たな継続活動の展開や拡大には時間的な制約があります。そのため、今年度は従来の事業とワンポイントアドバイスの充実に注力してまいります。

りのべる部会		令和6年度事業計画 (R6/7/1～R7/6/30)	
A：事業活動 (有償無償に関わらず、外部に対するの事業活動)			
No.	事業名	日付 期間	事業目的・内容等
	相手先・依頼主 場所		期待する成果
1	東大阪市重度身体障害者住宅改造費助成制度適正検証事業 東大阪市 東大阪市内	R6年 7/1～ R7年 6/30	目的：障害者の住環境のバリアフリー化を促進する。 障害者の住環境が改善され、継続して在宅生活を送る事ができる。
2	寝屋川市介護保険住宅改修支援事業 寝屋川市 寝屋川市立保健福祉センター 山本事務所・清水事務所	R6年 9/5	目的：健全な制度利用と、施工事業者・介護支援専門員の資質向上への支援。 施工事業者・介護支援専門員の資質の向上を図ることにより、質の良い住環境のバリアフリー化を促進する。 「給付券方式施工登録事業所研修会及び介護支援専門員介護住改研修会」 オンライン・ハイブリットにて開催 ①10:30～12:00 ②13:30～15:00 講師：山本・清水
3	大阪市立住まいの情報センター/出前講座 市民 大阪市内	R6年7月 ～ R7年6月	目的：高齢者やその家族が自立した生活を継続するために必要な住環境改善について知識を有し、主体的に取り組む事を目指す テーマ：「たかが手すり・されど手すり」「介護保険の住宅改修」 高齢者の身近なテーマから、住環境改善の知識を有し主体的に住環境整備に関わり、安心・安全な暮らしを継続する。
4	住宅改善サポート 高齢者・障がいのある人 大阪府下	R6年7月 ～ R7年6月	目的：高齢者や障がいのある人がその人らしく暮らせる住環境を整備する 内容：訪問相談、同行、アドバイス等 個別性に合わせた要望に対応し、その人らしく暮らせる住環境を提案する。
5	ワンポイントアドバイス 市民・介護関係者 大阪府下	R6年7月 ～ R7年6月	目的：高齢者等が安心して安全に暮らせる住環境を整備する 内容：ホームページと通じて、介護保険住宅改修対象工事等について、アドバイスをおこなう。 介護支援専門員や住宅改修に関わる関係者・ご家族などに気づきを促し、住宅改修が適切に実施され、高齢者等が在宅で安心して暮らしを継続する。

B：部会活動

(会員の研修会や勉強会、他機関との会合等)

No.	事業名		日付 期間	事業目的・内容等	
	参加者・人数	場所		期待する成果	
1	定例部会(月1回開催)		R6年7月 ～ R7年6月	目的：東大阪部会活動における情報の共有と促進 内容：活動の報告・連絡・検討・ワンポイントアドバイス作成	
	検証メンバー 大阪市立社会福祉センター・ リモート/ZOOM会議		第3土曜 12回	チームで取組、公正・適切、且つ、迅速な検証活動を行うことによって、高齢者や障がい者等の在宅生活の継続に寄与する	

令和6年度検証活動 作業担当計画

月	検証 活動日	検証担当 事前相談会担当		活動 予定	部会			ふくてっく 定例会	その他 活動予定 および備考
		担当	サブ		作成 連絡	第3 土曜	議事 進行		
7	7月	小川	寺岡	山本	7/20	山本	鎌田	春岡	
8	8月	清水	鎌田	山本	8/17	山本	小川	なし	
9	9月	寺岡	清水	山本	9/21	山本	寺岡	小川	
10	10月	春岡	寺岡	山本	10/19	山本	春岡	清水	
11	11月	曾我部	山本	山本	11/16	山本	曾我部	大塚	
12	12月	大塚	春岡	山本	12/21	山本	大塚	曾我部	
1	1月	山本	曾我部	山本	1/18	山本	小川	なし	
2	2月	小川	清水	山本	2/15	山本	曾我部	寺岡	
3	3月	曾我部	鎌田	山本	3/15	山本	春岡	清水	
4	4月	未定	未定	山本	4/19	山本	未定	未定	
5	5月	未定	未定	山本	5/17	山本	未定	未定	
6	6月	未定	未定	山本	6/21	山本	未定	未定	

りのべる部会

令和6年度収支計画 (R6/7/1~R7/6/30)

事業・部会 No.	事業名	収益	費用	差益
A-1	東大阪市重度障害者住宅改造費助成制度適 正検証事業	463,650	399,000	64,650
			諸謝金 360,000 旅費交通費 30,000 消耗品費 0 会議費 8,600 租税公課 400	
A-2	寝屋川市介護保険住宅改修支援事業	110,000	80,000	30,000
			諸謝金 80,000 旅費交通費 0	
A-3	大阪市立住まい情報センター ・出前講座 ・タイアップ事業	0	38,000	△ 38,000
			諸謝金 30,000 旅費交通費 6,000 消耗品費 2,000	
A-4	住宅改善サポート	200,000	200,000	0
			諸謝金 150,000 旅費交通費 30,000 消耗品費 10,000 印刷製本費 10,000	
A-5	ワンポイントアドバイス	0	45,000	△ 45,000
			諸謝金 40,000 消耗品費 5,000	
合 計		773,650	762,000	11,650
			諸謝金 660,000 旅費交通費 66,000 消耗品費 17,000 会議費 8,600 租税公課 400 印刷製本費 10,000	

3. こむねっと部会

令和6年度事業計画 (R6/7/1~R7/6/30)

A 中・長期計画 (令和6年7月1日~令和11年6月30日)

1. 前期 (令和6年7月1日~令和8年6月30日) : 発展期

大阪市子ども青少年局による市内保育所第三者評価受審促進事業が継続する間
こむねっと部会の活動は、第三者評価事業に絞り込んでこれに集中する。
この間に、年間25~28件をめどに第三者評価を受注する。

内訳： 高齢福祉分野	2 ~ 3	随時
障害福祉分野	2 ~ 3	随時
児童福祉分野	12 ~ 10	5~9月の間を中心に訪問調査
社会的養護関係施設	6 ~ 7	10月~翌年2月の間で訪問調査
その他	1 ~ 3	随時
合計	25 ~ 28	

高齢分野・障がい分野の受審を促すことを目的に、この分野については比較的到低価格で応じる。
これにより、年間事業収入を1000万以内に収める。

利益率を3~5%程度に抑えて、評価機関の体制強化とメンバーの研修充実を図る。

(ふくてっくは、緩やかな赤字体質を維持することとなる)

新しい評価調査メンバーを募集・育成する・・・研修費のさらなる増加を図る
主任評価調査者の養成を図る・・・組織の立体化、次世代リーダーの育成
事務局機能の組織化(属人性を払拭する)・・・パートタイマー事務職の配置を検討
評価活動にIT技術を導入するなど、業務の合理化を図る
過去データの集約と文献化
ふくてっく第三者評価実践マニュアルの明文化

2. 中期 (令和8年7月1日~令和10年6月30日) : 成熟期

大阪市子ども青少年局の施策が終了し、第三者評価事業も落ち着きを取り戻すと想定する

(引き続きふくてっくは、緩やかな赤字体質を維持することとなる)

持続可能な事業とする取組

- ・ 休息月を設ける・・・3月5日~5月5日の間には訪問調査を予定に入れない
- ・ 前期の取組による体制づくりの成果を評価して

その後の事業展開を上方志向とするか、フェードダウンに向かうかを判断する。

- ・ 第三者評価から派生する事業を起案し、取り組む (利益を求めない社会活動)

令和9年6月 ふくてっく第三者評価22年の歴史を祝う会を実施する。

3. 後期 (令和10年7月1日~令和11年6月30日) : 完成期となるか? 飛躍期となるか?

第三者評価事業は次世代に引き継ぐ

コミュニティビジネスの完成形とする。

(ようやく、ふくてっくの経営を支える事業として安定するか?)

オールドマンは「中期」で開発した新規事業に移行する(まだ元気があれば)

B 令和6年度事業計画の概要

中・長期計画(前期)の初年度として

すでに受注した評価事業を確実に推進する。

保育所20件、社会的養護関係施設8件、一時保護所1件 計29件はすでに確定
さらに1~2件増加もありうる(和歌山県一時保護所など)

研修の充実 全社協主催指導者研修(7/31~8/2)に3名参加

第三連と連携・協同して充実した研修を企画あるいは参加

評価調査者の増員 令和6年度評価調査者養成研修に新規2名、部門追加3名の受講
新たな人材確保

大阪府継続研修スキルアップ編の実施要項改革への協力

アンケート調査の実施 NPOちゅうぶ(ヘルパー派遣利用者意識調査)

B：令和6年度事業活動

No.	事業名 相手先・依頼主 場所	日付 期間	事業目的・内容等
			期待する成果
I-1	第三者評価 ①	R6年 7月～ R7年 6月	大阪府地域福祉推進審議会 評価機関連絡会 全国第三者評価調査者連絡会（第三連）
	大阪府推進審議会 大阪府福祉事業財団 評価機関連絡会 第三連		大阪府地域福祉審議会に引き続き審議委員として参加していきます。（任期は令和7年末） 評価機関連絡会は参加機関も6機関増えて、漸く対面会議が復活しました。保育所の受審機会が急増することに対応するための課題が山積しており、評価機関のスキルアップが喫緊の課題となっています。引き続き幹事機関として連絡会をけん引し、大阪の第三者評価事業の健全な発展に尽力します。
	大阪府および全国		第三連（第三者評価調査者連絡会）では、監事としての活動を通じて、全国の評価機関・評価調査者との連携を深めていきます。
I-2	第三者評価 ②		ふくてっく第三者評価事業の拡大発展
	評価機関体制整備と 評価の取り組み	大阪・奈良 および周辺府県	昨年に引き続き、2週間の枠に1件ずつの訪問調査日程を割り当てることを標準として受注制限していますが、すでに令和8年3月まで予定が埋まり、さらに令和8年7・8月と令和9年6月の予約も受けています。 今年度から5か年にわたる中・長期計画（前述）を策定し、これに基づいて計画的に事業の発展を模索していきます。
	外部連携 外部連携による協働事業		外部連携については、こむねっと部会では、第三者評価に関する関係団体等との連携に限定する。
	終了する活動		精力を福祉サービス第三者評価に集中するため、昨年度まで活動項目に挙げていた「空き家空きビル等の社会資源を福祉利用する支援」は終了とします。

◆福祉サービス第三者評価事業は、平成17年6月に大阪府から評価機関認証を受けてスタート。既に19年を経過し、20年目に入っています。近年事業規模も大幅に拡大しました。今後は昨年度に引き続き計画的な受注を徹底して、無理なく丁寧な評価活動に努めるほか、持続可能な体制の確立を目指します。
若い世代の新規参加を図りつつ、常に組織と運営規約の更新を続けていきます。

◆以前から温めていた空家空きビル活用プロジェクトは、精力を福祉サービス第三者評価事業に集中するため、終了とします。

◆外部連携については、昨年度の実業計画方針として、「会の誰かがやればよいのではなく、やる以上はふくてっく全体の取組として、少なくとも数名のチームで推進すべきですので、こむねっと部会扱いを返上します。中北は、事務局長として窓口の一翼を担いますが、今後は都度理事会に諮って代表、副代表とともに、三部会協働で取組みたいと思います。」と明言しています。
この度、改めてその提言を確認し、部会および中北の個人連携を整理します。

【こむねっと部会扱いとする外部連携】

全国第三者評価調査者連絡会（第三連）
大阪府社会福祉事業団

全国的な第三者評価調査者連携と最新情報の入手・研修参加
大阪府における第三者評価のスキルアップ協同

【中北の個人的扱いとする連携】

大阪ボランティア協会
大阪ソーシャルワーク研究所
居住福祉

多様な福祉人材・市民活動との連携
福祉事業にかかるソーシャルワークの意義と課題を研究
障がい者の居住福祉にかかる社会的活動連携

ふくてっくR6-7年度第三者評価予定

No.	件名	所在地	事業種別	訪問予定	評価メンバー
2408	ひまわり乳児保育園	住吉区苅田	保育所	6/19、7/3	小原・大塚・林・中北
2409	ひまわり保育園	住吉区清水丘	保育所	7/9、7/18	上田・美濃部・清水R・中北
2410	くれない保育所	城東区嶋野東	保育所	8/5、8/7	中北・藤本・小椋・林
2411	さつき保育園	北区本庄西	保育所	8/27、8/29	小原・美濃部・清水R・中北
2412	平和の子保育園	旭区新森	保育所	9/5、9/11	中北・曾我部・春岡・田代
2413	高津学園	天王寺区城南寺町	児童養護	9/19、9/24	中北・小川・清水R・鎌田
2414	信太学園	和泉市太町	児童養護	調整中	小原・曾我部・清水M・中北
2414-2	神戸市一時保護所	神戸市兵庫区上庄通	一時保護所	調整中	中北・小川・大塚・藤本・正井
2415	和泉乳児院	泉大津市助松町	乳児院	10/16、10/17	中北・美濃部・清水R・山本
2415-2	東光学園	堺市中区土塔町	児童養護	調整中	上田・中北・清水R・山本
2416	松柏学園	吹田市江坂町	児童養護	10/29、11/7	小原・小椋・春岡・林・(中北)
2416-2	和歌山県一時保護所	和歌山市毛見	一時保護所	未確定(11月前半)	中北・鎌田(未充足)
2417	報恩寮	天王寺区城南寺町	児童養護	11/15、11/19	中北・寺岡・田代・清水M
2418	あゆみの丘	貝塚市三ヶ山	児童心理治療	12/3、12/4	中北・曾我部・小川・山本
2419	ファミリーエヒかり	西宮市中殿町	母子生活支援	12/12、12/18	小原・藤本・小椋・清水R
2419-2	和歌山県一時保護所	奈良市毛見	一時保護所	11月下旬	
2420	今福青い鳥保育園	城東区今福西	保育所	12/27、1/7	中北・正井・寺岡・春岡
2421	大阪YWCA大宮保育園	大阪市旭区大宮	保育所 分煙	1/8、1/10、 予備日1/15	中北・曾我部・大塚・清水M・鎌田
2422	こひつじホーム				
2423	なないろ保育園諸口園	鶴見区諸口	小規模保育所	1/20~1/31	中北・美濃部・小椋・中北Y
2424	新北島保育所	住之江区新北島	保育所	1/27~2/7	中北・藤本・山本(未充足)
2425	相川保育園	東淀川区相川	保育所	2/10~3/5	小原・正井・小椋・中北。
2426	今津保育所	鶴見区今津中	保育所	2/21~3/5	中北・大塚・寺岡(未充足)
2427	やけの保育園	鶴見区焼野町	保育所	3/3~3/10	中北・曾我部・中北Y(未充足)
2501				3/6~3/19	
2502				3/21~3/31	
2503	デイライトキッズいまごと保育園	生野区中川西	小規模保育所	4/21~4/26	
2504	イカイノ保育園	生野区中川西	保育所	5/7~5/20	美濃部

(以降 R7-8年度以降)

2505	かきつばた保育園	住吉区千鉢	保育所	5/21~5/30	
2506	ももの木保育園	天王寺区南河堀	保育所	6/2~6/12	
2507	豊新愛育園	東淀川区豊新	保育所	6/13~6/25	
2508	マナ乳児保育園	阿倍野区阿部野橋	保育所	6/26~7/31	藤本、鎌田
2509	ナルド夜間保育園	阿倍野区阿部野橋	保育所		
2510	望之門保育園	阿倍野区阿部野橋	保育所		
2511	藤保育園ドレミ	住吉区役所内	小規模保育所	8/1~8/14	
2512	ゆり保育園	住吉区安孫子	保育所		
2512-2	東生駒こども園	奈良県生駒市東生駒	認定こども園	8/18-8/29	
2513	かのおん保育園	天王寺区清水丘町	小規模保育所	9/1~9/12	
2514	つみき保育園	東成区大今里南	保育所	9/16~9/26	
2515			(社会的養護)	9/29~	
2516			(社会的養護)	~10/19	
2517	大阪老人ホーム	松原市阿保	特養ホーム	10/20~11/7	
2518	大阪老人ホームうえだ	松原市上田			
2519	今福南保育所	城東区今福南	保育所	11/10~11/21	
2520	同朋学園	神戸市	児童養護	11/25~12/6	
2521	西六保育所	西区新町	保育所	12/1~12/12	
2522			(社会的養護)	12月下旬	
2523	森ノ宮保育園	城東区森ノ宮	保育所	1/5~1/16	
2524	岸和田学園	岸和田氏三田町	児童養護	1/13~2/6	
2525	あんだんて				
2526	あおぞら				
2527	聖愛園	東淀川区東淡路	保育所	2/9~2/27	
2528	聖愛園あすなろ				
2611	はらっぱ舎	港区波除	保育所	2026.7月下旬 ~8月上旬	
2612	はらっぱ舎AIAI				
2613	東生駒こども園分園	奈良県生駒市東生駒	小規模保育所	2026.8月後半	
2706	粉浜学園	住之江区粉浜	保育所	2027.6月	

C：部会活動		(会員の研修会や勉強会、他機関との会合等)	
No.	事業名 参加者・人数 場所	日付 期間	事業目的・内容等
			期待する成果
1	7月部会	7/20	福祉サービス第三者評価事業
	第三者評価調査者 大阪市立社会福祉センター		議題1：こむねっと部会中・長期計画（令和6年7月～令和11年6月30日） ・注力する事業と整理する事業 ・外部連携について ・第三者評価事業の展望と計画 議題2：（社福）みやびへの総合報告について 議題3：今後の第三者評価予定と担当メンバーの選定
2	8月部会	8/17	福祉サービス第三者評価事業
	第三者評価調査者 大阪市立社会福祉センター		議題1：全社協開催令和6年度指導者研修の振り返り（その1） ①保育所の評価／少子化と保育行政 清水R・小原 ②評価調査者の役割／評価基準ガイドラインの理解 中北
3	9月例会	9/21	福祉サービス第三者評価事業
	第三者評価調査者 大阪市立社会福祉センター		議題1：全社協開催令和6年度指導者研修の振り返り（その2） ①高齢福祉 清水R ②障害福祉 小原 ③第三者評価事業の課題／指導者研修参加各機関の取組 中北
4	10月部会	10/19	ものづくり・まちづくりの哲学
	拡大部会 大阪市立社会福祉センター		議題1：乳児院の評価基準（和泉乳児院に備えて） 議題2：母子生活支援施設の評価基準（ファミリーエビかりに備えて）
5	11月部会	11/16	福祉サービス第三者評価事業
	第三者評価調査者 大阪市立社会福祉センター		議題1：一時保護所の評価基準 議題2：4～9月に取り組んだ保育所評価の振り返り、12月以降の取組に備えて
5-2	継続研修スキルアップ編		
6	12月部会	12/21	福祉サービス第三者評価事業
	第三者評価調査者 大阪市立社会福祉センター		議題1：前半期を振り返る 議題2：ふくてっくの第三者評価 実践マニュアルの見直し ・IT技術と評価業務の合理化 ・評価スキルの向上
7	1月部会	1/18	福祉サービス第三者評価事業
	第三者評価調査者 大阪市立社会福祉センター		未定：外部講師を招聘して学習と交流
8	2月部会	2/15	福祉サービス第三者評価事業
	第三者評価調査者 未定		未定
9	3月部会	3/15	福祉サービス第三者評価事業
	第三者評価調査者 未定		未定
10	4月部会	4/19	福祉サービス第三者評価事業
	第三者評価調査者 未定		未定：他の評価機関、もしくは福祉施設訪問
11	5月部会（拡大部会）	5/17	福祉サービス第三者評価事業
	第三者評価調査者 未定		未定：他の機関と合流して学習と交流
12	6月部会	6/21	福祉サービス第三者評価事業
	第三者評価調査者 未定		議題1：中・長期計画、事業計画の評価と見直し

今年度も、毎月の部会を有意義に実施するため、毎回予めテーマを定めて準備を確実に整える。
開始時刻を13：30、終了時刻16：00を厳守する。
テーマによっては外部講師を招いたり、外部からの参加を促す。
拡大チームメンバーとの協同研修も計画する。

D:こむねっと部会 事業収支計画

令和6年度 (R6/7/1~R7/6/30)

事業・部会 No.	事業名	収益	費用	差益
A1	第三者評価 審議会・連絡会・第三連	0	50,000	-50,000
	前期未収金	-814,000		-814,000
	前期仕掛り	-670,000		-670,000
	前期未払い		-882,000	882,000
	第三者評価事業収支	10,757,900	9,062,405	1,695,495
	NPOちゅうぶアンケート	132,000	活動費配分 (70%) 92,400	39,600
	以上 計	9,405,900	8,322,805	1,083,095
	研修費		400,000	-400,000
A2	第三者評価以外の活動 新規事業立ち上げ経費		活動費・諸経費 0	0
共通	情報発信・資料印刷経費		50,000	-50,000
共通	会議費		50,000	-50,000
合計		0		583,095

議長は、第4号議案（各部の活動計画および事業収支計画）の説明を受けて、会場から意見を求めた。

稲住監事より、こむねっと部会の活動についての事務機能の組織化としてパート職員を置くなどに賛意を示すとともに、対応を急ぐよう勧奨する意見があった。

そのほか、会場からは異論なく各部の報告を承認した。

議長は、続いて事務局長から令和6年度活動予算計画の説明を求めた。

中北事務局長は、総会に先立って開催された理事会において、例会参加者に求めていた参加費（資料代）を廃止することになったことも踏まえて以下の説明を行った。

活動計算書

単位：円

科目	金額	前年決算額
I 経常収支		
1. 受取会費		
正会員受取会費	160,000	150,000
通信会員受取会費	1,000	1,000
学生会員受取会費	0	0
例会参加受取会費	0	2,000
受取会費計	161,000	153,000
2. 受取寄付金	0	0
3. 受取助成金等	0	0
4. 事業収益		
ふくてっくのつどい	25,000	90,000
りのべる	773,650	296,890
こむねっと部会	9,405,900	9,256,600
事業収益計	10,204,550	9,643,490
5. その他収益		
受取利息	70	71
雑収益	0	8
その他収益計	70	79
経常収益計	10,365,620	9,796,569
II 経常費用		
1. 事業費		
(人件費)		
給料、手当(事業)	45,000	45,000
人件費計	45,000	45,000
(その他経費)		
材料費	0	0
業務委託費	0	0
諸謝金	7,700,000	6,914,460
印刷製本費(事業)	800,000	734,000
会議費(事業)	40,000	35,400
旅費交通費(事業)	480,000	463,820
車両費	0	0
通信運搬費(事業)	10,000	9,250
消耗品費(事業)	50,000	141,136
諸会費	11,000	11,000
租税公課(事業)	10,000	400
研修費	400,000	60,000
支払手数料(事業)	35,000	30,118
雑費	250,000	266,345
その他経費計	9,786,000	8,665,929
事業費計	9,831,000	8,710,929

2. 管理費			
(人件費)			
給与 手当	156,000		156,000
通勤費	36,000		35,360
人件費計		192,000	191,360
(その他経費)			
諸謝金	75,000		74,548
印刷製本費	200		200
会議費	70,000		68,000
旅費交通費	6,000		5,080
通信運搬費	55,000		51,705
消耗品費	10,000		141
地代家賃	419,892		419,892
諸会費	0		0
新聞図書費	0		0
保険料	36,000		36,000
租税公課	8		9
支払手数料	60,000		54,950
支払い寄付金	0		100,000
雑費	10,000		8,492
その他経費計		742,100	819,017
管理費計			934,100
経常費用計			10,765,100
当期経常増減額			△ 399,480
Ⅲ 経常外収益			
経常外収益計			0
Ⅳ 経常外費用			
経常外費用計			0
税引前当期正味財産増減額			△ 399,480
法人税、住民税および事業税			70,000
当期正味財産増減額			△ 469,480
前期繰越正味財産額			7,266,699
次期繰越正味財産額			6,797,219

中北事務局長は、3部会の事業計画および収支予算書を統合し、管理部門経費については、過年度の傾向を踏襲してまとめていること、そして今後、事業に大きな変化がない場合には、毎年緩やかな正味財産減少傾向が続く見込みであることを報告した。

議長は報告を受けて、法人運営上の課題が明らかになっているという認識を共有したうえで、会員からの意見を求めた。

会員からは、各部会および本部運営計画に差し戻す意見はなく、報告された予算計画は承認された。

議長は、以上をもって予定した議事についての報告・審議を終了したこと、および
参加会員からの議事提案がないことを確認したうえで、14時 45分 閉会を宣言した。

議長

議事録署名人

議長

署名人

署名人